

## 武漢事務所週刊ニュース（2015年8月1日～7日）

### 武漢のビジネス中心地への投資の見通しは明るい

8月3日 新華ネット

「中国経済の流れと武漢発展のサミット 2015」が武漢で閉幕した。会議に参加する専門家から、武漢の長期投資の第一位に選ばれるものは、ビジネス中心地だという意見が揃った。

武漢の2014年GDP規模は中部地域で一番目に“万億クラブ”に入った。武漢は中国中部都市として全国高鉄中枢の心臓である。国の“一带一路”戦略の中で、鉄道によってユーラシアランドブリッジと繋がるので、武漢は30年以來最大な発展チャンスを迎える。未来には商業、貿易と金融サービスなど大きな発展性がある。

### エプソン武漢支社が移転

8月4日 長江商報

7月31日、エプソン武漢支社は移転儀式及び、業界解決法案体験センター開業祝典を行った。今回の移転はエプソン武漢支社の総合能力に対する全面的な向上となり、そして業界解決法案体験センターの設立は、顧客と協力会社のためによりよいサービスを提供することとなる。

エプソン武漢支社は、武漢の臨江大道に位置する武漢万達センタ

一に移転する。情報によると、移転場所にはエプソン業界解決法案体験センターが新しく設けられ、華中地域への販売を支える有力な道具となる。

エプソン（中国）総経理、安藤宗徳さんは、“エプソンが中国で11の支社を設け、武漢支社が湖北、湖南、江西、河南の四つの省の業務を担当している。武漢支社が新しい場所に移転することは、現地のディーラーとよりよく交流と協力を行え、ユーザーに対して現地の顧客の需要に応えるスピードを向上させる。積極的に本社と力を合わせ、将来顧客の期待にもっと合う製品とサービスを造ることができる。”と話した。